

## 2013年度中部支部 通常総会

- 1) 日 時 : 2013年6月10日 (月)
- 2) 場 所 : 名古屋国際会議場 (名古屋市熱田区熱田西町1番1号)
- 3) スケジュール :

行 事		時 間	会 場
研究発表会	第1会場	9:50~11:40	2号館 3階234会議室
	第2会場		2号館 3階232~233会議室
	第3会場		2号館 2階224会議室
理事 会		10:40~11:40	2号館 2階222・223会議室
通 常 総 会		13:00~14:00	1号館 4階レセプションホール
先 輩 講 話		14:10~14:50	【 一 般 公 開 】 1号館 4階レセプションホール
特 別 講 演 会		15:00~16:10	
ア ト ラ ク シ ョ ン		16:30~17:30	
会 員 パ ー テ ィ ー		17:50~19:20	1号館 7階展望レストラン

- 4) 会 費 : 通常総会、特別講演会等 : 無料  
 研究発表会 (前刷集代含む) : 会 員(一般)1,000 円, 会 員(学生)無料  
 会員外(一般)3,000 円, 会員外(学生)無料  
 会員パーティー : 7,000 円
- 5) 通常総会 : (13:00~14:00) 1号館 4階 レセプションホール

- |                       |           |        |                  |
|-----------------------|-----------|--------|------------------|
| * 開会の辞                | * 支部長挨拶   | * 来賓挨拶 | * 議長選出           |
| * 議 事                 | ① 2012 年度 |        | 事業報告に関する件        |
|                       | ② 2012 年度 |        | 会計決算報告に関する件      |
|                       | ③ 2012 年度 |        | 事業および会計監査報告に関する件 |
|                       | ④ 2013 年度 |        | 中部支部事業計画に関する件    |
|                       | ⑤ 2013 年度 |        | 中部支部予算に関する件      |
| * 支部事業活動功労者に感謝状と記念品贈呈 |           |        |                  |
| * 本部フェローの贈呈 * 閉会の辞    |           |        |                  |

6) 研究発表会

ご来場の際は、必ず2号館2階ロビー受付にお越し下さい。

(#:車両開発・パワートレイン \* :要素技術 ※:安全・環境・エレクトロニクスなど)

(敬称略)

セッション	会場	時間	テーマ		発表者
第1会場 (車両開発・パワートレイン)	2号館 3階 234会議室	9:50 ~10:10	超小型電気自動車の開発	#	トヨタ車体(株) 車両設計部 新規事業開発部 高尾 淳子 宇野 耕輔
		10:10 ~10:30	N Box パッケージ技術・ボディ軽量化技術	#	(株)本田技術研究所 鈴鹿分室 羽深 哲也
		10:30 ~10:50	新型アウトランダーPHEVの開発	#	三菱自動車工業(株) EV・パワートレインシステム 技術部 大橋 朋宏
		11:00 ~11:20	FF6AT 用プラネタリギアの実働時荷重解析	#	(株)豊田中央研究所 機械・電気研究部 相原 建人
		11:20 ~11:40	二段予混合着火クリーンディーゼル燃焼	#	(株)豊田自動織機 エンジン事業部 葛山 裕史
第2会場 (要素技術)	2号館 3階 232~233会議室	9:50 ~10:10	オートマチックトランスミッションにおける静粛性向上と軽量化の両立に向けた取り組み	*	アイシン・エイ・ダブリュ(株) 解析技術部 鈴木 圭介
		10:10 ~10:30	マニュアルトランスミッションの潤滑性能向上	*	愛知機械工業(株) 要素製品開発部 青山 英樹
		10:30 ~10:50	SSPP(スズキスーパーポリプロピレン)の開発	*	スズキ(株) 開発推進部 菊地 香代
		11:00 ~11:20	固体潤滑オーバーレイの摩擦低減と耐磨耗性向上	*	大豊工業(株) 研究部 神谷 周他
		11:20 ~11:40	自動車エンジン用樹脂オーバーレイ軸受材料の研究	*	大同メタル工業(株) 技術ユニット 研究開発 センター 小早川大樹
第3会場 (安全・環境・エレクトロニクス)	2号館 2階 224会議室	9:50 ~10:10	エンジン制御用コンピュータの熱シミュレーション技術	※	(株)デンソー 電子技術2部 篠田 卓也
		10:10 ~10:30	32 km/h 斜めボール側突における World SID と THUMS の肩部への外力と胸部傷害の関係の調査	※	トヨタ自動車(株) 車両 CAE 部 福島 聡
		10:30 ~10:50	DC モータのブラシ自励振動解析技術の構築	※	アスモ(株) 開発部 内田 直孝
		11:00 ~11:20	周辺監視カメラを用いた画像認識応用システム	※	アイシン精機(株) 第一電子系技術部 秋田 時彦
		11:20 ~11:40	車載カメラを用いた周囲環境認識	※	名古屋大学 情報連携統括本部 出口 大輔

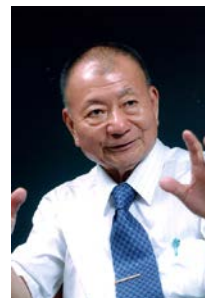
7)先輩講話(14:10~14:50)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 講 師:さんぼう会 清水 孝氏(静岡大学 名誉教授)
- 演 題:長寿社会に生きて思うこと
- 講演要旨:仕事に区切りをつけながら、歳を重ねると共になだらかに下る体力に合わせて楽しく生きる道を選択することは簡単なようで難しい。趣味に多くの時間を割きながら、ボランティア的な仕事にも参加し、地域社会に合わせなければなりません。健康管理のためにスポーツジムに通いながら2~3のカルチャー教室にも出かけ、今時のことがらを学びながら生きて行きたいと思えます。



8)特別講演会(15:00~16:10)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

- 講 師:宮脇 昭氏((公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長 横浜国立大学 名誉教授)
- 演 題:最高の技術は本物のいのちの森と共生する
- 講演要旨:国内外で植樹を推進する現場主義の植物生態学者として、これまで1,700ヶ所以上の産業立地、都市、交通施設のまわりに、先見性、決断力、実行力、持続力を持った企業、行政、各団体、市民の皆さまと共にいのちの森をつくってきました。いのちの森とは何か。今すぐできる森づくりの哲学と進み方について共に考えましょう。



9)アトラクション(16:30~17:30)1号館4階レセプションホール<<一般公開>>

「伝統芸能 狂言」~それは室町時代から息づくヒューマンコメディー 人間賛歌の劇~

- 出演:和泉流山脇派狂言師・狂言共同社  
佐藤友彦氏 佐藤融氏 井上松次郎氏 今枝郁雄氏
- 狂言は、今から600年ほど前に能とともに成立した日本を代表する伝統芸能で、ユネスコの世界無形文化遺産にも登録されています。わかりやすいセリフとしぐさを中心とした写實的・喜劇的な対話劇で、おろかな大名、たくましい家来、わわしい妻などが登場し、庶民の誰もが持っている生活感情の機微を洗練された笑いに表現しています。尾張徳川藩お抱え、和泉流山脇派狂言を現代に継承する共同狂言社の皆さんの、伝統の技と笑いを是非お楽しみ下さい。



10)会員パーティー

会員相互の親睦を深めて頂く良い機会ですので多数の方のご参加をお待ちしています。

## 2013 - 第1回見学会

開催日時	2013年4月19日(金)
会場	トヨタ車体(株) いなべ工場
スケジュール	12:20 JR・近鉄 桑名駅 東口ロータリー集合・受付 12:30 バス移動(いなべ工場へ) 13:15 挨拶・概要説明 13:45 生産ライン見学 15:15 技術講演「ハイエースの世界事情(仮)」 16:00 質疑応答 16:15 バス移動(桑名駅へ) 17:00 桑名駅解散
集合場所	JR・近鉄桑名駅 東口ロータリー
集合時間	12:20
定員	50名
申込方法	下記「参加条件など」にご注意頂き、「お申込方法はこちら」から必要事項をご記入の上、お申込ください。
申込締切日	2013年3月29日(金)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金徴収と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	現地に駐車場はありません。
添付ファイル	<a href="map.tab.inabe.xls">map.tab.inabe.xls</a>

## 2013 - 第2回見学会

開催日時	2013年5月20日(月)
会場	オーエスジー(株)本社CSセンター
スケジュール	12:50 JR 豊川駅 東口ロータリー付近集合・受付 バス移動(本社CSセンターへ) 13:20 会社概要説明 13:40 技術講演+切削デモ 「穴加工工具 NO.1 を目指して」 ～フジテレビ「ほこ×たて対決」 撮影秘話と最新の低抵抗型切削工具～ 14:55 バス移動(大池工場へ) 15:15 製造ライン見学・質疑応答 16:25 バス移動(豊川駅へ) 17:00 豊川駅解散
集合場所	JR豊川駅 東口ロータリー付近
集合時間	12:50

定員	40名
申込方法	下記「参加条件など」にご注意頂き、「お申込方法はこちら」から必要事項をご記入の上、お申込ください。
申込締切日	2013年4月29日(月)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金徴収と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	①同業他社の方はご遠慮下さい ②現地に駐車場はありません。
添付ファイル	<a href="#">map.osg.xls</a>

## 2013 - 第3回見学会

開催日時	2013年6月19日(水)
会場	大同特殊鋼株式会社 星崎工場 → 名古屋銀行協会
スケジュール	<p>★移動は中部支部手配のバスにご乗車頂きます★</p> <p>&lt;参加者のバス乗車場所と時間&gt;  ※ 北陸地区の自動車技術会担当より、参加者の方に直接ご連絡致します。</p> <p>9:50～11:20 見学会 大同特殊鋼株式会社星崎工場 (圧延工程等の見学)</p> <p>11:30～12:00 バス移動</p> <p>12:00～13:00 昼食(於:名古屋銀行協会)</p> <p>13:00～16:30 第2回技術講習会(於:名古屋銀行協会)  ※講演内容などの詳細は「第2回技術講習会(名古屋市)」のご案内をご参照ください。</p> <p>16:40～ 帰路(乗車場所を経由)</p>
概要	注)当日の集合場所など詳細は参加者にご案内致します。
定員	40名
申込方法	下記「お申込方法はこちら」から必要事項をご記入の上、お申込下さい。
申込締切日	2013年5月29日(水)
参加費	(昼食付) ①正会員 4,000円 ②会員外 7,000円 ③学生は会員・会員外ともに1,000円

## 2013 - 第4回見学会

開催日時	2013年6月28日(金)
会場	KYB(株)(カヤバ工業(株)) 岐阜北工場
スケジュール	12:50 名鉄犬山駅 東口ロータリー集合・受付 見学先へバス移動 13:30 挨拶・会社概要説明 14:00 工場見学 15:20 技術講演「自動車用ショックアブソーバの概要と技術動向」 16:00 質疑応答 17:00 名鉄犬山駅解散
集合場所	名鉄犬山駅 東口ロータリー ※添付地図「KYB map.xls」ご参照ください。
集合時間	12:50
定員	40名
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場はありません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	<a href="#">KYB map.xls</a>

## 2013 - 第5回見学会

開催日時	2013年7月18日(木)
会場	中部国際空港セントレア
スケジュール	12:50 中部国際空港セントレア内ホワイエ付近 集合・受付、講演会場へ徒歩移動 13:00 挨拶・概要説明・講演「(仮題)セントレアの特徴」 14:15 保安検査(※身分証明書をご提示頂きます) 検査終了後に見学現場へバス移動 14:30 滑走路外周等の見学 16:00 中部国際空港セントレア内ホワイエ解散
概要	<p>★ご注意ください★</p> <p>①セントレア見学会は正会員限定企画です。 ⇒会員外(賛助会員含む)の方はご参加できません。 また、代理出席不可です。必ず申込者ご本人様をご参加ください。</p> <p>②本見学会へお申込頂く際には、詳細な個人情報が必要となるため、お申込される前に申込用紙に記載の注意事項をご確認頂き、ご提示頂かなくてはならない個人情報や参加費などの内容をご納得頂いた上で、お申込くださいますようお願い致します。</p> <p>③本見学会の参加費は通常とは異なります。 ⇒正会員:2,000円(通常 1,000円)となります。</p> <p>④ご提示及び同意を頂けない場合は、いかなる理由があってもご参加頂くことはできません。</p>

	ん。
集合場所	中部国際空港セントレア内ホワイエ付近 ※添付地図「centrair map.xls」ご参照ください。
定員	50名
申込方法	添付 専用申込用紙「centrair application form.xls」にて、事前に記載の注意事項をよくご確認のうえ、同意頂けるかどうかと、必要事項を全てご入力の上、e-mail<chubu@jsae.or.jp>またはFAX<0566-36-2553>にてお申込ください。
申込締切日	2013年4月9日(火)
参加費	正会員 2,000円
参加者条件など	正会員限定
添付ファイル	<a href="#">centrair map.xls</a> <a href="#">centrair application form.xls</a>

## 2013 - 第6回見学会

開催日時	2013年9月20日(金)
会場	三菱自動車工業(株)パワートレイン製作所(京都工場)
スケジュール	12:50 JR・近鉄 京都駅 八条口集合・受付・バス移動 13:30 挨拶・概要説明 14:00 ものづくり文化館 及び エンジン工場の見学 15:00 講演会(質疑応答含む) 講演テーマ「(仮題)エンジン開発について」 16:00 バス移動 17:00 JR・近鉄 京都駅 八条口解散
集合場所	JR・近鉄 京都駅 八条口 ※添付地図「0920map.xls」ご参照ください。
集合時間	12:50
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年8月30日(金)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場はありません。集合場所からは当支部手配のバスにご乗車頂き、現地へ向かいます。
添付ファイル	<a href="#">0920map.xls</a>

## 2013 - 第7回見学会

開催日時	2013年10月3日(木)
会場	三菱電機(株) 稲沢製作所
スケジュール	13:15 現地集合・受付 13:30 挨拶・会社概要説明 13:50 工場・試験塔・ショールーム見学 15:40 講演会(質疑応答含む) 講演テーマ「(仮題)エレベーターの技術動向」 16:30 現地解散
集合場所	現地集合 ※添付地図「1003map.xls」ご参照ください。
集合時間	13:15
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年9月12日(木)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場はありません。同業他社の方のお申込はご遠慮ください。現地集合・現地解散となります。
添付ファイル	<a href="#">1003map.xls</a>

## 2013 - 第8回見学会

開催日時	2013年11月15日(金)
会場	航空自衛隊 岐阜基地
スケジュール	12:45 名鉄犬山駅 東口ロータリー集合・受付バス移動 13:30 挨拶・会社概要説明 14:00 資料館見学(主に旧日本軍関係) 14:30 自衛隊航空機の見学 15:00 高射群の見学 16:00 名鉄犬山駅 解散
概要	★ご注意ください★ ①日本国籍の方のみお申込頂けます(自衛隊サイド指示により) ②本見学会は専用紙の添付「1107application form.xls」にてお申込ください



集合場所	名鉄犬山駅 東口ロータリー ※添付地図「1107map.xls」ご参照ください。
集合時間	12:45
定員	40名
申込方法	添付 専用申込用紙「」にて、必要事項を全てご入力の上、e-mail<chubu@jsae.or.jp>またはFAX<0566-36-2553>にてお申込ください。
申込締切日	2013年9月20日(金)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	日本国籍の方
添付ファイル	<a href="#">1107map.xls</a> <a href="#">1107application form.xls</a>

## 2013 - 第9回見学会

開催日時	2013年12月13日(金)
会場	あいちシンクロトン光センター「知の拠点あいち」
スケジュール	13:25 現地集合・受付 13:30 挨拶・会社概要説明 13:45 講演 「知の拠点あいち」の概要について 14:45 高度計測分析機器・3Dプリンタ、 あいちシンクロトン光センター見学 16:00 質疑応答 16:30 現地解散
集合場所	現地集合・解散 ※添付地図「1213map.xls」ご参照ください。
集合時間	13:25
定員	40名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年11月22日(金)
参加費	<見学会は当日現金払いのみです>正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	現地集合・現地開催となります。
添付ファイル	<a href="#">1213map.xls</a>

## < 開催中止 > 2013 - 第10回見学会

開催日時	2014年1月24日(金)
会場	新日鐵住金(株) 名古屋製鐵所
テーマ	13'1/21(火)本見学会は見学先都合により開催中止となりました。
スケジュール	13:50 現地集合・受付 14:00 挨拶・会社概要説明 14:15 講演 「(仮)自動車軽量化における鉄鋼材料の果たす役割」 15:00 工場見学 16:30 質疑応答 17:00 現地解散
集合場所	現地集合・現地解散 ※添付地図「0124map.xls」ご参照ください。
集合時間	13:50
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年1月3日(金)
参加費	<見学会は当日現金払いのみです>正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
参加者条件など	注)現地に駐車場はありません。同業他社の方のお申込はご遠慮ください。現地集合・現地解散となります。
添付ファイル	<a href="#">0124map.xls</a>

## 2013 - 第11回見学会

開催日時	2014年2月6日(木)
会場	トヨタ自動車東日本(株) 東富士工場
スケジュール	12:55 JR三島駅 北口 集合・受付 13:40 挨拶・工場概要説明 14:00 工場見学 15:00 技術講演「車いすドライバ向け移乗補助装置の開発」 15:30 質疑応答 16:40 JR三島駅 解散

概要	★ご注意ください★ 本見学会は専用用紙の添付「0206application form.xls」にてお申込ください
集合場所	JR三島駅 北口 ※添付地図「0206map.xls」ご参照ください。
集合時間	12:55
定員	50名
申込方法	添付 専用申込用紙「0206application form.xls」にて、必要事項を全てご入力の上、 e-mail<chubu@jsae.or.jp>またはFAX<0566-36-2553>にてお申込ください。
申込締切日	2014年1月16日(木)
参加費	正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会員外ともに無料◎当日現金お支払と 引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご用意願います。
添付ファイル	<a href="#">0206application form.xls</a> <a href="#">0206map.xls</a>

## 2013 - 第12回見学会

開催日時	2014年3月26日(水)
会場	公益財団法人鉄道総合研究所 風洞技術センター
スケジュール	13:30 現地集合・受付 13:45 挨拶・会社概要説明(DVD視聴) 14:00 実験設備見学 15:15 技術講演「鉄道車両の風洞実験」 15:45 質疑応答 16:00 現地解散
集合場所	現地集合・現地解散 ※添付地図「0326map.xls」ご参照ください。
集合時間	13:30
定員	30名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書> に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年3月5日(水)
参加費	<見学会は当日現金払いのみです>正会員 1,000円 会員外 3,000円 学生は会員・会 員外ともに無料◎当日現金お支払と引換えに領収書を発行致します。つり銭のなきようご 用意願います。
参加者条件など	※本見学会は、現地集合・現地解散です。
添付ファイル	<a href="#">0326map.xls</a>

## 2013 - 第1回技術講習会

開催日時	2013年4月12日(金)13:00~16:30
会場	三島市民文化会館 ゆうゆうホール(三島市一番町 20-5) <a href="http://www.mishima-youyouhall.com/modules/access/content0002.html">http://www.mishima-youyouhall.com/modules/access/content0002.html</a>
テーマ	『ボディー・シャシ技術の最先端』
スケジュール	<p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10-14:10 「車体の軽量化と剛性向上を目指した 新しいアルミニウム合金低圧鋳造プロセスの開発」 日産自動車(株) パワートレイン 生産技術本部 神戸 洋史 氏</p> <p>二輪車の車体フレームや四輪車のサスペンションメンバのような剛性が必要とされる部品を安価に製造するための新しい低圧鋳造法を紹介する。本手法は、平均肉厚3mm以下、長尺1mの中空・閉殻断面構造のアルミ合金鋳物の製造が実現できる。</p> <p>14:20-15:20 「マツダ「CX-5」の車体技術」 マツダ(株) ボディー開発部 松岡 秀典 氏</p> <p>パワートレインとプラットフォームを同時刷新し、全体最適の視点からボディーの理想構造を追及した上で、新工法の採用の材料や最適化するなどのプロセスを繰り返すことで、剛性・安全性の確保と軽量化という背反要素を両立させたCX-5の車体開発について紹介する。</p> <p>15:30-16:30 「Hondaの軽自動車を変えるNシリーズの挑戦 ～パッケージング技術とボディー軽量化技術の紹介～」 (株)本田技術研究所 四輪R&amp;Dセンター 白土 清成 氏</p> <p>「ホンダの軽の概念を根底から変える」ことを目指し、「決められたサイズや排気量で最高のパフォーマンスを生み出す」というレースへのチャレンジの発想と経験を活かして開発された革新的なプラットフォームについて紹介する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
概要	エコ社会を担うクルマには操縦安定性や衝突安全性などのクルマとしての基本性能以外に、低燃費化へ向けての軽量化技術、さらに快適性や居住性といった日常での使い勝手の向上などのための工夫など、ボディー・シャシに関する様々な要素技術をバランスさせることが求められている。本講演では、これら技術について事例を通じて紹介するとともに、今後のボディー・シ

	ヤーシ技術について展望する。
集合時間	13:00
定員	120名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年3月22日(金)
参加費	《2013年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

## 2013 - 第2回技術講習会

時	2013年6月19日(水)13:00~16:30
会場	名古屋銀行協会 5階 大ホール <a href="http://www.nagoya-ba.or.jp/access.htm">http://www.nagoya-ba.or.jp/access.htm</a>
テーマ	『ガソリン車の燃費向上技術の最前線』
スケジュール	13:00 開会あいさつ  13:10-14:10 「新型ワゴン R の低燃費技術」 新型ワゴン R は軽自動車初となる先進的な低燃費技術“エネチャージ;減速エネルギー回生機構”,“新アイドルストップシステム”,“エコクール;蓄冷材を用いた空調システム”を採用し、更に70kgに及ぶ“軽量化”,パワートレインの高効率化を行って、軽ワゴントップレベルの燃費を達成した,これらの低燃費技術の概要を紹介する。  スズキ株式会社 四輪技術本部第一カーライン チーフエンジニア 松井 時男 氏  14:20-15:20 「環境性能を向上した新型中大型用 CVT の紹介」 弊社は2ペダルトランスミッションの専門メーカーとして, 2012年より Jatco CVT8 の生産を開始している。CVT8は, 従来機種に対して大幅な低燃費を実現しており、今後、主力機種として2.0L~3.5L クラスまで幅広く搭載される予定である。今回は、弊社 CVT 開発の歴史と変遷、CVT8 開発時における環境性能向上への取り組みについて紹介する。  ジヤトコ株式会社 プロジェクト推進室 課長補佐 泉 徹也 氏

	<p>15:30-16:30  「新型 3 気筒 1.2 リッター直噴スーパーチャージャエンジン  &lt;HR12DDR エンジン&gt;の開発」</p> <p>欧州及び日本小型車市場向けに、低 CO2/低燃費のガソリンエンジンを開発した。過給エンジンとしては最高レベルの圧縮比13を実現し、動力性能を犠牲にすることなく、セグメントTOPクラスの低 CO2を達成することができた。今回このエンジンのコンセプトと、投入された革新的な技術的特徴について紹介する。</p> <p>日産自動車株式会社  パワートレイン第一製品開発部  ガソリンエンジン製品開発グループ 佐藤 健 氏</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
概要	<p>CO2 排出による地球温暖化や排気ガスによる都市部の大気汚染、石油資源の枯渇問題などにより、ハイブリッド車など環境対応車の需要が急速に高まっている。このような状況で、従来からのガソリン車も、様々な画期的な技術開発により燃費向上を実現してきた。そこで、今回はガソリン車の最新の燃費向上技術について、自動車メーカー、部品メーカーから具体的な製品を例にとりて紹介していただく。</p>
集合時間	13:00
定員	160 名
申込方法	<p>下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い&lt;中部支部行事申込書&gt;に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。</p>
申込締切日	2013 年 5 月 29 日(水)
参加費	<p>《2013 年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》  正会員☆3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料</p>

## 2 0 1 3 - 第 3 回 技 術 講 習 会

開催日時	2013 年 8 月 30 日(金)13:00~16:30
会場	刈谷市産業振興センター 小ホール7階(刈谷市相生町1-1-6) <a href="http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/">http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/</a>
テーマ	『市場を喚起する車~こだわりのクルマづくり~』

スケジュール	13:00 開会あいさつ
	13:10-14:10 <最新キャンピングカー事情> アウトドア派の夢の実現として、日本独自に発展してきたキャンピングカーの世界を紹介するとともに、自動車としての要件と反芻する構造要件への対応、更に世界のキャンピングカー事情と日本の状況を紹介します。
	ロータス RV 販売㈱ 代表取締役 松本 興太郎 氏
	14:20-15:20 <カスタマイズの世界> 所有者アイデンティティーの主張や趣味の世界の体現、車両機能・性能を強化し、よりスポーティーな走りの追求など遊び心・ワクワク感を増幅させるカスタマイズの世界をトヨタ 86 のカスタマイズをベースに、お客様と開発側の両方の視点から紹介する。
	トヨタテクノクラフト㈱ 製品企画室 主査 清水 一之 氏
15:30-16:30 <福祉車両開発の取り組み> 昨今の福祉車両は端に障害者のためのクルマとしてだけでなく、高齢者の支援を含め様々な用途があり、全ての人々の移動手段として期待されている。そこで、現在の福祉車両を取巻く環境を概説し、福祉車両開発の取組みと車両コンセプトを紹介する。	
トヨタ車体㈱ 特装・福祉センター 部長 不破 良平 氏	以 上
集合時間	13:00
定員	160 名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013 年 8 月 9 日(金)
参加費	《2013 年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000 円 会員外 6,000 円 学生は会員・会員外ともに無料

## 2 0 1 3 - 第 4 回 技 術 講 習 会

開催日時	2013 年 10 月 11 日(金)13:00~16:30
会 場	アクトシティ浜松 コンgressセンター 41 会議室(静岡県浜松市中区板屋町 111-1)

場	<a href="http://www.actcity.jp/about/access.php">http://www.actcity.jp/about/access.php</a>
テーマ	『ニューモビリティ –テクノロジーとその可能性–』
スケジュール	<p>13:00～13:10 開会の挨拶</p> <p>13:10～14:10 「超小型モビリティへの取り組みについて ～超小型モビリティによるスマートライフの提案」</p> <p>国土交通省では、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の「新たなカテゴリー」の乗り物である超小型モビリティの導入に向けて様々な施策を展開している。今回、公道走行を簡便な手続きで可能とする超小型モビリティ認定制度の創設やまちづくりなどと一体となった先導・試行導入を促進するための補助制度などの取り組みや今後の課題などを紹介する。</p> <p>国土交通省 自動車局 環境政策課 永井 啓文 氏</p> <p>14:20～15:20 「自動車技術における安心の考え方」</p> <p>JSAE エレクトロニクス部門委員会において 2003 年から調査研究してきたヒューマロニクス（人間工学）の考え方を紹介する。人と共存できるモビリティを目指し、自動車の安心に対する考え方を整理した上でパーソナルモビリティ『Uni-Cub』などの実例を紹介するとともに人とクルマの安心感があるインタラクションのありたい姿を展望する。</p> <p>(株)本田技術研究所 川合 誠 氏</p> <p>15:30～16:30 「電気自動車の新たな活用と課題」</p> <p>次世代エネルギー車の一翼を担う電気自動車『i-MiEV』の開発経緯を中心に、モビリティとしての新しい価値である「給電機能」について、スマートグリッド実証や、給電装置の開発を例に紹介する。また、電気自動車の新たな可能性として、ヒルクライムレース参戦を目標に開発した高性能EV『MiEV Evolution II』について紹介する。</p> <p>三菱自動車工業(株) 開発本部 EV要素研究部 古市 哲也 氏</p>
概要	<p>モーターショーやメーカー発表会でよく耳にする「ニューモビリティ」という概念。しかし、それを一言で説明するのは困難である。個々の技術を指す場合もあれば、自動車社会全体の再構築を指す場合もあるからだ。そこで、輪郭がおぼろげな「ニューモビリティ」が生み出す価値への期待やそのために必要な技術などを紹介することで、「ニューモビリティ」が目指す“新たな何か”について展望する。</p>
集合時	13:00



間	
定員	120名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い「中部支部行事申込書」に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年9月20日(金)
参加費	《2013年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

## 2013 - 第5回技術講習会

開催日時	2013年12月6日(金)13:00~16:40
会場	会場 刈谷市産業振興センター 小ホール7階(刈谷市相生町1-1-6) <a href="http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/">http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/</a>
テーマ	『モータースポーツの世界』
スケジュール	<p>13:00~13:10 開会あいさつ</p> <p>13:10~14:00 「レース用トヨタハイブリッドシステムの開発」</p> <p>モータースポーツにおける環境技術の導入が進む中、トヨタ自動車も市販車プリウスに代表されるハイブリッド技術を用いたレース用システムを構築した。市販車部品を流用したスーパーGT (GT300 カテゴリー)用システムを主に取り上げ、全体構成および個別ユニットの構造紹介、安全性の考え方、レースにおけるモータアシストの使い方を紹介する。</p> <p>トヨタ自動車(株) HV 先行開発部 システム計画室 グループ長 石田 竜太 氏</p> <p>14:00~14:50 「2013 パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム 電気自動車(EV)でのチャレンジ」</p> <p>2011年までガソリンエンジン車で6連覇を成し遂げ、ワールドレコードを更新してきた我々モータースポーツチームが、何故7連覇を目前に電気自動車(EV)でチャレンジを開始したか？ 電</p>

気自動車(EV)でのチャレンジで知った問題点と、それを克服するためのアイデアや技術について、「環境とエネルギー問題」に取り組むと同時に、これまでの技術を活かして「浮揚式津波対策用シェルター SAFE+(セーフプラス)」を開発、防災対策にも取り組んでいる。

(株)ダイマモーターコーポレーション  
代表取締役会長  
田嶋 伸博 氏

15:00～15:50  
「ダカールラリーへの挑戦」

TLC(チームランドクルーザートヨタオートボデー)は、世界一過酷な自動車競技と言われるダカールラリー、通称「パリダカ」へクルマ本来の性能が問われる「市販車部門」の優勝を目標に自社製品である「ランドクルーザー」で挑戦しつづけている。その過酷なラリー現場での奮闘や優勝を手にするためのチーム作りを紹介する。

トヨタ車体(株)  
総務部広報室  
ダカールラリー推進グループ  
グループ長 TLC 監督  
森 達人 氏

15:50～16:40  
「MOTO GP 制御開発における安全性」

2002年からスタートしたMOTO GPでは、2ストロークから4ストロークへのエンジン仕様の変更、加速度やジャイロセンサといった各種センサの小型・高性能化という背景の中、エンジンブレーキ制御、ウィリー抑制制御といった機能への要求が高まってきており、その制御システムは年々、大きく複雑化してきた。ここでは、そのMOTO GPエンジン制御とレースにおけるシステムの安全性の考え方について紹介をする。

ヤマハ発動機(株)  
技術本部 MS 開発部  
モトGPグループ  
主査  
尾方 宏彰 氏

概要

リーマンショックにより、F1やWRCなど国際レース活動から撤退が相次いだ日本のモータースポーツ界だったが、近年では、再び日本人や日本メーカーが海外レースで目覚ましい活躍をみせるようになり、国内でも白熱したバトルで人気を呼ぶレースが注目されている。さらに、国内外含めトップカテゴリーのレースにハイブリッド車や電気自動車などが参戦できる体制も整備されるようになり、まさに「環境対応技術」という新しい波と共にモータースポーツの人氣が復活してきた。そこで、今回は世界を舞台にモータースポーツで活躍するトップクラスの企業やチーム関係者に、最新のレース活動や市販車へのフィードバックなど、モータースポーツに関するお話をし頂く。

集合時間

13:00

定員

160名

申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い＜中部支部行事申込書＞に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年11月15日(金)
参加費	《2013年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

## 2013 - 第6回技術講習会

開催日時	2014年2月28日(金)13:00~16:30
会場	名古屋銀行協会 5階 大ホール <a href="http://www.nagoya-ba.or.jp/access.htm">http://www.nagoya-ba.or.jp/access.htm</a>
テーマ	『活躍する女性エキスパートの視点』
スケジュール	<p>13:00 開会あいさつ</p> <p>13:10-14:10 「ドライバーへの視認性支援技術の国際調和と安全への取組み」 最新の自動車灯火は、ドライバーに見るべき場所を見せる。見やすいように調整するなど、光りをデザインし安全性を向上させる開発が進んでいる。このような最新技術をより早く基準化し、国際調和への日本の貢献と交通安全の確保に対する取組みを紹介する。</p> <p>独立行政法人 交通安全環境研究所 自動車安全研究領域 主席研究員 塚田 由記 氏</p> <p>14:20-15:20 「車両安全の現状と課題」 交通事故の死者数は減少しているものの、現場で何が起き被害者がどう傷ついているのかを把握することが重要である。ビックデータをもとに解析を実施し、救命救急取材のなかで見えてきた課題と、遅れている子供達への安全について紹介する。</p> <p>モータージャーナリスト ノンフィクション作家 岩貞 るみこ 氏</p> <p>15:30-16:30 「女性エンジニアとしての製品開発とその道のり ～メカ女子から見た新エンジニア像～」 女性として製品開発に携った経験からの気づきや取組み姿勢・ライフワークバランスの考え方を紹介し、メカトロニクスの観点から、将来における自動車のコア技術と、これからのエンジニア像(メカ女子・メカ男子)の役割についてご紹介いただく。</p>

	関東学院大学理工学部 機械学系 専任講師 工学博士 西田 麻美 氏  <p style="text-align: right;">以 上</p>
概要	<p>男女雇用機会均等法が導入されてから約30年が経過し、様々な業界・分野で女性エキスパートの方々が第一線で活躍されている。第6回技術講習会では、この様な方々にスポットをあて、女性ならではの視点から自らの専門分野に関して、お話をさせていただく。</p> <p>あわせて、今後さらに女性技術者・研究者の活躍が期待されている自動車業界に対し、助言やアドバイスをいただく。多くの女性技術者・研究者の方のご参加をお願いします。</p>
集合時間	13:00
定員	160名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2014年2月7日(金)
参加費	《2013年度より技術講習会参加費が変更(☆印箇所)になりました》 正会員☆3,000円 会員外 6,000円 学生は会員・会員外ともに無料

## 2013 - 中堅技術者懇談会 (1泊2日)

開催日時	2013年9月25日(水)～2013年9月26日(木)
会場	(株)デンソー 浜名湖研修所(静岡県浜松市三ヶ日町都筑 607-7)
スケジュール	<p>◎趣旨: 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くと共に、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【1日目】 9:40～ 9:45 開会挨拶:担当理事 羽田雅敏氏(愛知機械工業(株) フェロー) 9:45～10:10 オリエンテーション(スケジュール説明・自己紹介など) 10:10～12:00 講演:「中堅技術者に期待すること」 大同メタル工業(株) 相談役 坂本雅昭氏 12:00～13:00 昼食 13:00～17:00 グループ討議:「中堅技術者の悩みと解決法」(5グループ) 17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食 19:30～22:00 自由交流、名刺交換</p> <p>【2日目】 7:30～ 8:00 朝食 8:30～12:00 グループ討議まとめ 12:00～13:00 昼食 13:00～15:40 グループ発表(5グループ) 15:40～16:30 閉会、アンケート記入</p>

	以上
概要	<p>～技術者懇談会参加者の声(12年度)～</p> <p>懇談会の参加者は、同じ自動車関係会社に所属し、ほぼ同世代、立場も同じ、でも会社だけが違う、という人たちの集まりでした。この関係性、これが非常に重要でした。グループ討議では、参加をいくつかのグループに分け、個人の日ごろの悩みや、課題などを話し共有しますが、この関係性ならではの共通点と、微妙に違った話がいろいろな方から聞けます。そのことで、新たな気付きや、悩みの解決方法、困難への対処法など、非常に多くのことを得ることができました。</p> <p>討議内容は最後に全員で発表しますが、発表時間には収まりきらない程、内容の濃い、社会人人生の中でも特に印象に残る2日間を過ごせたと思います。夕食後の、自由交流も含めて。。。</p> <p>この機会を与えて頂いた皆様に本当に感謝します。ありがとうございました。今でも、グループメンバーとはとてもいい関係を築けておりますが2日間の多くの成果の中で、この事も間違いなく、私にとっての大きな成果のひとつだと思います。</p> <p>ジヤトコ(株) 未来技術センター 岡本 宗幸</p>
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年7月12日(金)
参加費	《2013年度より参加費が変更になりました》 正会員 12,000円 会員外 14,000円
参加者条件など	《2013年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました》 ①35歳前後の中堅技術者②女性技術者の方も是非ご参加ください

## 2013ー若手技術者懇談会(1泊2日)

開催日時	2013年10月31日(木)～2013年11月1日(金)
会場	(株)デンソー 浜名湖研修所(静岡県浜松市三ヶ日町都筑 607-7)
スケジュール	<p>◎趣旨: 技術者が日頃職場で抱える諸問題や悩み、解決してきた経験などを話し合い、今後の業務に活かして頂くとともに、所属会社・経歴を越えた会員相互の研鑽と交流の場とする。</p> <p>【1日目】 9:40～ 9:45 開会挨拶:担当理事 羽田雅敏 氏(愛知機械工業(株) フェロー) 9:45～10:10 オリエンテーション(スケジュール説明・自己紹介など) 10:10～12:00 講演:「いつも変わらない夢があった」 ヤマハ発動機(株) 研究開発統括部 イノベーション研究部 部長 鈴木正人 氏 人力飛行機「チームエアロセプシー」リーダー 12:00～13:00 昼食</p>

	<p>13:00～17:00 グループ討議(5グループ)  17:00～19:30 休憩(入浴)、夕食  19:30～22:00 自由交流、名刺交換</p> <p>【2日目】  7:30～ 8:00 朝食  8:30～12:00 グループ討議まとめ  12:00～13:00 昼食  13:00～15:40 グループ発表(5グループ)  15:40～16:30 閉会、アンケート記入</p>
概要	<p>～若手技術者懇談会参加者の声(12年度)～</p> <p>まずはじめに『若手技術者懇談会』の幹事先輩方へ御礼を申し上げます。私はこの懇談会で同世代の仲間と議論し、語り合うことで、今後に繋がる心強さと勇気を貰いました。その結果、これまでより明確に目標を持ち仕事に打ち込めています。</p> <p>入社後しばらく経ち、いつのまにか色々な言い訳を憶え、『真の問題』を直視せずとその場をどう凌ぐかを考えて仕事を進めがちでした。そんなときにこの懇談会に参加し、同じ様な境遇で働く仲間と様々な問題の共有をすることができ、抱えている問題や捉え方はみんな同じだとわかりました。そして熱い議論の結果、真の問題へたどり着き、向き合い、真直ぐに解決していく決意ができました。また、多数の企業の方と議論する中で、自社内とは違う問題解決の取り組みに触れることができ、貴重な勉強をさせていただきました。</p> <p>ご承知のように、技術者にとって大切なのは現地現物です。同じ境遇の仲間と、同じ場所、同じ時間で、本音を語り合うことができたからこそ、真の問題とその解決の糸口をつかめたと思います。濃密な時間を過ごした今回の仲間とは会社の垣根を越えて何かをできる最高の仲間になれると信じています。</p> <p>トヨタテクニカルディベロップメント(株) エンジン適合技術部 大淵 浩司</p>
定員	50名
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。
申込締切日	2013年9月6日(金)
参加費	《2013年度より参加費が変更になりました》 正会員 12,000円 会員外 14,000円
参加者条件など	《2013年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました》 ①25～29歳の若手技術者②女性技術者の方も是非ご参加ください

## 2013 - フォロー懇談会

### 1. 女性技術者フォロー懇談会

- (1) 日時：2014年 2月 21日 (金)  
 (2) 場所：トヨタ車体株式会社 刈谷研修所 Tel 0566-25-1821  
 愛知県刈谷市一色町3-6-4  
 (3) スケジュール

時間	内容
10:00 ~ 10:30	主旨説明、自己紹介
10:30 ~ 12:00	グループ別討議(テーマ:女性技術者の悩みと解決法)
12:00 ~ 13:00	昼食、休憩
13:00 ~ 15:30	グループ別討議・まとめ(午前の続き)
15:50 ~ 17:20	発表&アドバイザーを交えた意見交換
17:30 ~ 19:00	自由交流会

今回は女性技術者のアドバイザーに参加いただき、グループ討議、発表、意見交換、自由交流会の場で、質問への回答や悩みなど一緒に考え、アドバイスをいただきます。

★アドバイザー：金子 美智代様(トヨタ自動車)

## 2013 - 第1回技術交流会

開催日時	2013年8月2日(金)13:00~18:20
会場	アイシン年金基金会館 (安城市三河安城東町2-8-1)
テーマ	『二輪車の新しいカタチ』
スケジュール	<b>【第1部 講演と討論】</b>  13:05-13:55 ①二輪車が築いてきたもの ・バイクの形態と役割を、デザイン、社会ないしは人との関わり方などの観点から歴史的側面も踏まえ考察する。  川崎重工業株式会社 モーターサイクル&エンジン・カンパニー CLO(Chief Liaison Officer) 木村 徹 氏
	13:55-14:45 ②アセアン向けバイクの開発 ・アジア市場の中で、アセアンの人々に求められるデザイン、性能、使い勝手などを取り込み、新しく開発されたバイクを紹介する。  スズキ株式会社 二輪商品企画部 専任職 高次 信也 氏
	14:55-15:45 ③災害対応バイク(■実車展示あり) ・大震災などで道路が寸断された被災地に、素早く初期救援活動を

	<p>行うバイクとその啓蒙活動を紹介する。</p> <p>ヤマハ発動機株式会社 MS開発部 MS推進グループ グループリーダー 河邊 幸司 氏 トライアル担当 木村 治男 氏</p> <p>15:45-16:50 ④全体討議(出席者全員)</p> <p>【第2部】 ⑤意見交換会(出席者全員) ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意あります。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
概要	<p>二輪車は、使い勝手の良い移動手段として広く使用され、また独自の操縦性からスポーツ用具としての地位も確立してきた。近年、多くの部分は四輪車に置き換えられてきたが、全世界的には二輪車を適当とする人々は多く存在し、また「二輪車でなければ達成できない」という分野が存在していることも確かであり、同時に根強い二輪愛好者も依然として少なからず存在している。</p> <p>今回は、二輪車について、「社会」「パーソナルモビリティ」「デザイン」などの観点から、さまざまな ニーズに対応する車を通して、二輪車の新しい形態を議論していただく。</p>
集合場所	※駐車場の容量が少ないため、お車での来場は極力ご遠慮ください。公共交通機関等での来場をお願い致します。
集合時間	13:00
定員	40
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い<中部支部行事申込書>に必要事項をご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2013年7月12日(金)
参加費	《2013年度より参加費が変更になりました》 正会員 4,000円 会員外 7,000円 学生(正会員・会員外ともに)1,000円
参加者条件など	※2013年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました。

## 2013 - 第2回技術交流会

開催日時	2013年11月21日(木)13:00~18:20
会場	刈谷市産業振興センター 604会議室(刈谷市相生町1-1-6) <a href="http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/">http://www.city.kariya.lg.jp/shisetsu/sangyokeizai/sangyokoshinsenta/</a>
テーマ	『異種材料接合』



マ	
スケジュール	<p>【第1部 講演と討論】</p> <p>13:05～13:55</p> <p>①異種材料接合の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異種材料接合について、その現状、可能性、課題について概説いただくと共に最近の研究トピックスを紹介。</li> </ul> <p>豊橋技術科学大学 大学院機械工学専攻 教授 福本 昌宏 氏</p> <p>13:55～14:45</p> <p>②スチール-アルミ合金の接合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車幅広く用いられているスチール材にアルミ合金を接合する技術について、その応用例、開発技術などを紹介。</li> </ul> <p>本田技研工業 鈴鹿製作所 BODY 管理ブロック 技術主任 矢羽々 隆憲 氏</p> <p>14:55～15:45</p> <p>③樹脂と金属の接合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹脂と金属を強固に接合する技術 NMT を中心に、樹脂-金属接合の課題と将来展望について解説。NMT:Nano Molding Technology</li> </ul> <p>大成プラス 代表取締役会長 成富 正徳 氏</p> <p>15:45～16:50</p> <p>④全体討議（出席者全員）</p> <p>【第2部】</p> <p>⑤意見交換会(出席者全員)</p> <p>※立食形式にて、軽食・飲物のご用意あります。 <span style="float: right;">以 上</span></p>
概要	<p>自動車の構造部材には主に鉄系金属が用いられているが、軽量化のためにアルミ系金属さらには樹脂を導入することが検討されている。異種材料の接合には課題が多くこれまで実用化が進んでいなかったが、最近、これを克服する技術が幾つか現れている。今回は、異種金属の接合、樹脂-金属の接合などの専門家を招聘し、異種材料接合の可能性、今後の展望などについて議論を行う。</p>
集合時間	13:00
定員	40名程度
申込方法	<p>下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い＜中部支部行事申込書＞に必要事項をご記入の上、お申込み下さい</p>
申込	2013年10月31日(木)

締切日	
参加費	《2013 年度より参加費が変更になりました》 正会員 4,000 円 会員外 7,000 円 学生(正会員・会員外ともに)1,000 円
参加者条件など	※2013 年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました。

## 2013 - 第3回技術交流会

開催日時	2014 年 2 月 14 日(金)13:00~18:20
会場	刈谷市総合文化センター「アイリス」 401 研修室(刈谷市相生町1-1-6) <a href="http://www.kariya.hall-info.jp/index.php?menuID=5">http://www.kariya.hall-info.jp/index.php?menuID=5</a>
テーマ	『乗用車用ディーゼルの高性能化 - その Key 技術の変遷 -』
スケジュール	<p><b>【第1部 講演と討論】</b></p> <p>13:05-13:25 ①乗用車用ディーゼルの高性能化 ・エンジンの高性能化に寄与したキー技術とその導入の経緯、効果などを歴史的に整理して解説</p> <p>豊田中央研究所 リサーチ・アドバイザー 中北 清己 氏</p> <p>13:25-14:05 ②コモンレール・システム ・ディーゼルを大きく進化させたコモンレール噴射系の進歩の歴史と、最新技術である「i-ART」の解説</p> <p>デンソー ディーゼルシステム技術部 標準開発室 室長 内山 賢 氏</p> <p>14:05-14:45 ③ターボ過給機 ・ディーゼルの高性能化に大きく寄与したターボ技術について、その進化過程と最新技術を解説</p> <p>IHI 車両過給機セクター 技術統括センター センター長 鬼東 和宏 氏</p> <p>14:55-15:35 ④最新高性能ディーゼル ・同社 X5/6 用 M50d に搭載された「直 6-3L、280kW、740Nm」の強力エンジンとそれに投入された技術の解説</p>

	<p>BMW Japan 技術顧問 山根 健 氏</p> <p>15:35～16:50 ⑤全体討議（出席者全員）</p> <p>【第2部】 ⑥意見交換会（出席者全員） ※立食形式にて、軽食・飲物のご用意あります。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
概要	<p>ディーゼル乗用車は、これまで主に燃費の良さで欧州市場を中心に受け入れられて来た。近年、ディーゼルは特に動力性能の面で著しい進歩を遂げ、乗用車の新しい分野として世界的に認知され多くの国で展開されつつある。</p> <p>今回は、ディーゼルの専門家を招聘し、エンジンの高性能化とそれに深く関わってきたキー技術であるコモンレールとターボについて歴史的に解説頂くと共に、最も進化したディーゼルを紹介頂き、今後のディーゼルの方向性について議論を行いたい。</p>
集合時間	13:00
定員	40 名程度
申込方法	下記「申込み方法はこちら」に記載の申込方法・留意点に従い＜中部支部行事申込書＞に必要事項をご記入の上、お申込み下さい
申込締切日	2014 年 1 月 24 日(金)
参加費	《2013 年度より参加費が変更になりました》 正会員 4,000 円 会員外 7,000 円 学生(正会員・会員外ともに)1,000 円
参加者条件など	※2013 年度より会員外の方もご参加頂けるようになりました。

## 2013年度 社会貢献行事

### (1) プログラム

	モノづくり体験教室		展示
	「風に向かって走れ！ウインドカー」	「クルマのメカに触れてみよう！」	
内容	ウインドカー工作&タイムアタック・レース	エンジン分解組立体験	企業出品、学生フォーミュラカー等

### (2) 実施内容

	開催日	開催地	会場	参加者募集目安			協業校
				ウインドカー工作&タイムアタック・レース	エンジン分解組立体験	展示	
第1回	04/21 (日)	三重県 松阪市	みえこどもの城	募集:40人 実績:31人 (20人/回 X2回)	募集:24人 実績:19人 (8人/回 X3回)	—	鈴鹿専 高専
第2回	05/12 (日)	愛知県 豊橋市	視聴覚教育センター	募集:40人 実績:27人	募集:24人 実績:24人	—	豊橋技術学 大
キッズエンジンニア2013	07/26 (金) 07/27 (土)	愛知県 名古屋市	吹上ホール	募集:80人 実績:77人 ※当日募集 (2日間)	—	—	—
第3回	09/14 (土)	静岡県 静岡市	静岡科学館 る・く・る	募集:40人 実績:34人	募集:20人 実績:17人 (10人/回 X2回)	学生フォーミュラカー (静岡理工科 大)	岡工大/ 岡学 静理科学 大
第4回	11/2 (土)	石川県 小松市	このま つわく このま マツ 館	募集:40人 実績:34人	募集:8人 実績:9人 (4人/回 X2回)	—	金沢大 工業学 大

## 2013年度 学自研行事

委員長校:金沢大学 副委員長校:静岡理工科大学、名古屋大学

■は役員会を示す

開催年月	行 事 名	開催場所(担当大学)	参加校
2013年 4月27日(土)	■ 参与会 ■ 学生委員会	名古屋大学 (委員長校)	参加校13校 参加人員30人
4月27日(土)	新入生ものづくり セミナー	豊橋技術科学大学 (豊橋技術科学 大学)	参加校7校 参加人員45人
5月18日(土)	自動車テクニカル セミナー(溶接編)	トヨタ車体技能 研修センター (福井大学)	参加校8校 参加人員27人
6月29日(土)	走行技術 トレーニング#1	小笠山総合運動公園 エコパ(静岡大学、 静岡理工科大学)	参加校16校 参加人員293人
7月6日(土)	■ 学生委員会	刈谷市産業振興 センター(委員長校)	参加校11校 参加人員16人
7月6日(土)	基礎技術交流会#1 (プレゼン講習会1)	刈谷市産業振興 センター(フォー ミュラWG、OP会)	参加校23校 参加人員48人
7月20日(土)	走行技術トレ ニング#2	小笠山総合運動公園 エコパ(静岡大学、 静岡理工科大学)	参加校11校 参加人員132人
8月6日(火) ~8日(木)	3支部合同学生 フォーミュラ試走会	富士スピード ウェイ(3支部)	中部支部 参加校10校 参加人員170人
8月24日(土)	基礎技術交流会#2 (プレゼン講習会2)	刈谷市産業振興 センター(フォー ミュラWG、OP会)	参加校14校 参加人員35人
9月21日(土)	自動車テクニカル セミナー(静的審査 公聴会)	刈谷市産業振興 センタートヨタ 名古屋)	参加校14校 参加人員32人
10月19日(土)	■ 参与会 ■ 学生委員会	刈谷市産業振興 センター(委員長校)	参加校14校 参加人員28人
10月19日(土)	FSAE参戦報告会	刈谷市産業振興 センター (金沢工業大学)	参加校5校 参加人員16人
11月16日(土)	四輪駆動車試乗会	さなげアドベン チャーフィールド (愛知工業大学)	参加校4校 参加人員22人
11月23日(土)	基礎技術交流会#3 (マネジメント編)	刈谷市産業振興 センター(フォー ミュラWG、OP会)	参加校12校 参加人員40人
12月14日(土)	基礎技術交流会#4 (キャリア相談会)	刈谷市産業振興 センター(フォー ミュラWG、OP会)	参加校9校 参加人員21人

2014年 1月25日(土)	学生委員会 学術研究講演会	刈谷市産業振興 センター(委員長校、 副委員長校)	参加校7校 参加人員54人
3月6日(木) ~7日(金)	学自研学生と社会人 技術者との懇談会 (1泊)	デンソー安城荘・ 安城製作所・本社 (静岡大学)	参加校6校 参加人員27人
3月8日(土)	走行技術トレーニング #4	小笠山総合運動公園 エコパ(静岡大学、静 岡理工科大学)	参加校9校 参加人員94人